

株式会社木幡計器製作所と協定を締結

医工連携による事業創出および人材育成の相互支援を目指して

【本件のポイント】

- 2016年から共同研究を実施
- 本学の医療従事者がモノづくり支援施設を使用可能に
- 医療機器関連製品の製品化速度向上を期待

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・友田幸一）は、2019年（令和元年）6月1日株式会社木幡計器製作所（大阪市大正区 代表取締役・木幡巖）と「医工連携による事業創出と人材育成の相互支援」に関する連携協定を締結しました。

本学と木幡計器製作所とは2016年から、本学総合医療センター呼吸器外科診療部長金田浩由紀准教授が、大阪市イノベーション創出支援補助金を活用し、「差圧計測技術を応用した気胸診断用の胸腔内圧測定システムの開発」をテーマとする共同研究に取り組んできました。

本協定締結によって、木幡計器製作所が自社内に設けているベンチャー企業向けモノづくり施設「Garage Taisho」の加工機や測定機器を、本学の教職員が利用したり同社従業員の支援を得たりが可能になります。また、研究成果や医療現場の課題から発案されたアイデアを形にするプロトタイプ（試作品作製）を加速できるほか、医療機器開発の実績を有する木幡計器製作所とGarage Taishoの支援によりベンチャー企業が開発する医療機器関連製品に対して、本学教職員がアドバイスおよび臨床試験サポート等を提供することによって、製品化の精度・速度が上がるのが期待されるなど、従来の両者の連携関係をより一層強化していく予定です。

【株式会社木幡計器製作所】

1909年に創業。本社は大阪市大正区に所在する工業用圧力計メーカーで、医療機器メーカーとしても呼吸筋力測定器を製造販売。IoT・ライフサイエンス系ベンチャーのものづくり支援施設 Garage Taisho（ガレージ大正）を運営する。

2013年7月より「おおさか地域創造ファンド」の支援を受け、国立国際医療研究センターとの連携で開発した「呼吸筋力測定器 IOP-01」を2018年11月より販売開始。また、自社工場の一部を改装したGarage Taishoでは、自社の医療機器参入経験を活かしたライフサイエンス系スタートアップのためのものづくり支援事業を開始。更に2018年度には、経済産業省の「スタートアップファクトリー構築支援事業」により、試作から量産に至るまでのものづくりベンチャー支援の環境を整え、また一般社団法人大阪発明協会との連携で「知財総合支援窓口」を開設するなど、ものづくりベンチャー企業の知的財産権に関する支援にも力を入れている。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（岡田、畑森）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp